

第 26 回日本生体防御学会学術総会 プログラム概要

(日本薬剤師研修センター集合研修, 共催: 東京薬科大学, 後援: 台東区)

会 期: 平成 27 年 7 月 10 日 (金) 10:00 ~ 7 月 12 日 (日) 17:00

会 場: 台東区生涯学習センター ミレニアムホール

(<http://www.city.taito.lg.jp/index/kurashi/gakushu/syougaiyakusyucente/annaizu.html>)

7月10日(金)

シンポジウム I 若手研究者シンポジウム 午後

7月11日(土)

シンポジウム II 自然免疫研究の新展開 午前

座長 石井 健 (大阪大学/医薬基盤研究所)、瀬谷 司 (北海道大学)

1. 「試験管内インフラマソーム再構成による薬剤探索の試み」 増本純也 愛媛大学
2. 「自然免疫 ITAM 関連受容体による結核菌脂質の認識と免疫応答」 原 博満 鹿児島大学大学院
3. 「血球貪食と他者融解の分子機構」 華山力成 大阪大学
4. 「がん微小環境における免疫変調とその打破」 井上徳光 大阪府立病院機構

特別講演 14:00-15:00

「マウスモデルを利用した関節リウマチの発症機構の解析と治療への応用」

岩倉 洋一郎 (東京理科大学生命医科学研究所 教授)

シンポジウム III 新興感染症と免疫 午後

座長 大石和徳 (国立感染症研究所)、石和田稔彦 (千葉大学医学部)

1. 「小児における結合型肺炎球菌ワクチンの接種普及がもたらしたもの」
安慶田 英樹 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
2. 「インフルエンザ感染後の肺炎球菌性肺炎の解析と予防」
関 雅文 東北薬科大学病院 呼吸器内科・感染管理対策室
3. 「肺炎球菌感染症の予防・診断・治療」
舘田 一博 東邦大学医学部 微生物・感染症学講座

7月12日(日)

教育講演 11:40-12:40

「難治性血管炎の分子論」 野島 博 (大阪大学微生物病研究所 教授)

シンポジウム IV 生体防御学のチーム医療への貢献 午後

座長 下枝貞彦 (東京薬科大学)、影山美穂 (東京薬科大学)

1. 「感染を防ぐために 感染制御チームにおける薬剤師の関わり」
堀 勝幸 (地方独立行政法人 長野県立須坂病院 薬剤科)
2. 「糖尿病と免疫」 西村英尚 (羽島市民病院 薬剤部)
3. 「循環器領域の感染症および炎症性疾患の治療における薬学的アプローチ」
平田尚人 (長野赤十字病院 薬剤部)
4. 「免疫抑制療法による臓器移植の生体防御機構調節 -拒絶反応の防止と副作用の軽減-」
竹内裕紀 (東京薬科大学薬学部 医療実務薬学教室)

公開講座 16:00-17:00

「感染症の撲滅を目指して」 山田 陽城 (東京薬科大学、NPO 法人 DNDi Japan 理事長)

【一般演題, 受賞講演】 7 月 10 日 (金) - 12 日 (日) 40 演題以上を予定

【申し込み方法】 日本生体防御学会ホームページから

参加費 (事前) 正会員 5000 円, 非会員 6000 円, 研修シール (3 点/日)

【学術総会事務局】 東京薬科大学薬学部 免疫学教室 TEL & F AX: 042-676-5570 (直通)

E-mail: 2Gishdr@gmail.com